

くすりのしおり

内服剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ミニリンメルト OD 錠 60 μ g [中枢性尿崩症治療剤]

主成分：デスモプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形：白色の錠剤、直径 12mm、厚さ 3mm

シート記載：60、ミニリンメルト OD 錠 60 μ g



この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、バソプレシン分泌不足が原因で大量の尿が出ることを防ぐ錠剤です。

通常、中枢性尿崩症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、習慣性または心因性多飲症、心不全の既往、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1～2錠（デスモプレシンとして60～120 μ g）を、1日1～3回服用します。飲む量は飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減されますが、1回服用量の上限は4錠（240 μ g）です。また、1日服用量の上限は12錠（720 μ g）です。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は舌の下におくとすぐに溶けるので、水なしで飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食事と薬を飲むタイミングについては医師または薬剤師に相談してください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に飲んでください。ただし、次の服用が近い場合は忘れた分は飲まず、次の服用時に決められた量を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・自分で自由に水分を取ることができない乳幼児の場合には、日常から適正な水分量をまもってください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として腹痛、倦怠感、頭痛、口渇、肝機能異常、食欲不振、吐き気、顔面浮腫、嘔吐、発熱、不眠、めまいが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は水分と光に不安定なので飲む直前にシートから取り出してください。
- ・シートから取り出す際には、裏面のシートをはがした後、ゆっくりと指の腹で押し出してください。欠けたり割れたりした場合は全部飲んでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ミニリンメルト OD 錠 120 μ g [中枢性尿崩症治療剤]

主成分：デスモプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形：白色の錠剤、直径 12mm、厚さ 3mm

シート記載：120、ミニリンメルト OD 錠 120 μ g



この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、バソプレシン分泌不足が原因で大量の尿が出ることを防ぐ錠剤です。

通常、中枢性尿崩症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、習慣性または心因性多飲症、心不全の既往、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1～2錠（デスモプレシンとして60～120 μ g）を、1日1～3回服用します。飲む量は飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減されますが、1回服用量の上限は2錠（240 μ g）です。また、1日服用量の上限は6錠（720 μ g）です。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は舌の下におくとすぐに溶けるので、水なしで飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食事と薬を飲むタイミングについては医師または薬剤師に相談してください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に飲んでください。ただし、次の服用が近い場合は忘れた分は飲まず、次の服用時に決められた量を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・自分で自由に水分を取ることができない乳幼児の場合には、日常から適正な水分量をまもってください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として腹痛、倦怠感、頭痛、口渇、肝機能異常、食欲不振、吐き気、顔面浮腫、嘔吐、発熱、不眠、めまいが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は水分と光に不安定なので飲む直前にシートから取り出してください。
- ・シートから取り出す際には、裏面のシートをはがした後、ゆっくりと指の腹で押し出してください。欠けたり割れたりした場合は全部飲んでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ミニリンメルト OD 錠 240 μ g [中枢性尿崩症治療剤]

主成分：デスモプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形：白色の錠剤、直径 12mm、厚さ 3mm

シート記載：240、ミニリンメルト OD 錠 240 μ g



この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、バソプレシン分泌不足が原因で大量の尿が出ることを防ぐ錠剤です。

通常、中枢性尿崩症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、習慣性または心因性多飲症、心不全の既往、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1～2錠（デスモプレシンとして60～120 μ g）を、1日1～3回服用します。飲む量は飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減されますが、1回服用量の上限は1錠（240 μ g）です。また、1日服用量の上限は3錠（720 μ g）です。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は舌の下におくとすぐに溶けるので、水なしで飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食事と薬を飲むタイミングについては医師または薬剤師に相談してください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に飲んでください。ただし、次の服用が近い場合は忘れた分は飲まず、次の服用時に決められた量を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・自分で自由に水分を取ることができない乳幼児の場合には、日常から適正な水分量をまもってください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として腹痛、倦怠感、頭痛、口渇、肝機能異常、食欲不振、吐き気、顔面浮腫、嘔吐、発熱、不眠、めまいが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は水分と光に不安定なので飲む直前にシートから取り出してください。
- ・シートから取り出す際には、裏面のシートをはがした後、ゆっくりと指の腹で押し出してください。欠けたり割れたりした場合は全部飲んでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ミニリンメルト OD錠 120 μ g [夜尿症治療剤]

主成分：デスモプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形：白色の錠剤、直径 12mm、厚さ 3mm

シート記載：120、ミニリンメルト OD錠 120 μ g



この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、夜間のバソプレシン分泌不足が関係して起きる夜尿（おねしょ）を防ぐ錠剤です。

通常、尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、習慣性または心因性多飲症、心不全の既往、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回1錠（デスモプレシンとして 120 μ g）を、1日1回就寝前に服用しますが、効果不十分の場合は1回2錠（240 μ g）に増量されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は舌の下におくとすぐ溶けるので、水なしで飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食事と薬を飲むタイミングについては医師または薬剤師に相談してください。
- ・夜寝る前に排尿をしてから、この薬を飲んでください。
- ・飲み忘れた場合は翌日から夜寝る前に飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・夕食後より翌朝までに飲む水の量は、医師の指示に従い、極力飲まないようにしてください。医師の指示以上に飲んでしまった場合はこの薬は使用しないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腹痛、倦怠感、頭痛、口渇、肝機能異常、食欲不振、吐き気、顔面浮腫、嘔吐、発熱、不眠、めまいが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は水分と光に不安定なので飲む直前にシートから取り出してください。
- ・シートから取り出す際には、裏面のシートをはがした後、ゆっくりと指の腹で押し出してください。欠けたり割れたりした場合は全部飲んでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。

くすりのしおり

内服剤

2020年04月作成

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ミニリンメルト OD錠 240 μ g [夜尿症治療剤]

主成分：デスマプレシン酢酸塩水和物 (Desmopressin acetate hydrate)

剤形：白色の錠剤、直径 12mm、厚さ 3mm

シート記載：240、ミニリンメルト OD240 μ g



この薬の作用と効果について

脳の下垂体から分泌されて、尿量を調節する抗利尿ホルモン「バソプレシン」と同じような働きを持ちます。腎の尿細管における水の再吸収を促して尿を濃縮し、夜間のバソプレシン分泌不足が関係して起きる夜尿（おねしょ）を防ぐ錠剤です。

通常、尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症の治療に用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。低ナトリウム血症、習慣性または心因性多飲症、心不全の既往、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、腎障害がある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、1回デスマプレシンとして 120 μ g を、1日1回就寝前に服用しますが、効果不十分の場合は1回 240 μ g に増量されます。本剤は1錠中にデスマプレシン 240 μ g を含有します。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・この薬は舌の下におくとすぐ溶けるので、水なしで飲んでください。
- ・この薬は食事の影響を受けますので、食事と薬を飲むタイミングについては医師または薬剤師に相談してください。
- ・夜寝る前に排尿をしてから、この薬を飲んでください。
- ・飲み忘れた場合は翌日から夜寝る前に飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・医師からの生活指導を守ってください。
- ・夕食後より翌朝までに飲む水の量は、医師の指示に従い、極力飲まないようにしてください。医師の指示以上に飲んでしまった場合はこの薬は使用しないでください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、腹痛、倦怠感、頭痛、口渇、肝機能異常、食欲不振、吐き気、顔面浮腫、嘔吐、発熱、不眠、めまいが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・全身がだるい、頭痛、吐き気 [水中毒]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・この薬は水分と光に不安定なので飲む直前にシートから取り出してください。
- ・シートから取り出す際には、裏面のシートをはがした後、ゆっくりと指の腹で押し出してください。欠けたり割れたりした場合は全部飲んでください。
- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄については受け取った薬局や医療機関に相談してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。